

夢や希望の実現のために自ら動く

岐阜市立岩野田中学校 学校だより 2022.6.18



学校 HP へ



5/27(金)体育祭を行いました。

3年ぶりに全校での体育祭が開かれました。

競技に取り組む姿、仲間を大切に
する姿、係活動や準備・片付けに進んで
取り組む姿。いたるところに「自ら動
く」姿が見られました。多くの保護者
の方も来校され、お子様の姿を見て
いただけたことをうれしく思います。素
敵な一日にすることができました。



岩野田中学校 学校評価をお願いします。

毎年12月頃に、保護者の方々に学校評価アンケートを
お願いしています。岐阜市の重点を受け、岩野田中学校
では以下の項目を重点に学校運営を進めてまいります。

岐阜市の重点	岩野田中学校 評価項目
学校・家庭・地 域との協働に よる指導体制 の確立	地域との協働活動や体験学習などの実 施を通して、地域で生きるという実感を 味わうとともに地域が育てる体験活動 を推進する。
	管理職・いじめ対策監を中心として、よ りよい人間関係を育む指導体制を確立 する。
学習指導要領 の趣旨を十分 に踏まえた社 会に開かれた 教育課程の編 成と実施	自分の考えを深めるためや、学びによ って得た知識や技能をさらに深めるた めに、表現する場の設定を工夫し、「思考 力」「判断力」「表現力」を育てていく。 新学習指導要領の実施に伴い授業の見 直しを進める。
	タブレット端末を利用した学習を取り 入れ、生徒の多様な学びにつなげる。積 極的に ICT を活用した学習を取り入れ るよう職員研修を実施する。
幼保小連携や 小中一貫の考 えのもと、地 域人材を活用 した学校づく りの推進	学校での学びと社会を接続するために、 地域人材の力を積極的に活用し、子ども 達の夢や希望を育む。
	学校だより、ホームページなどで行事予 定や生徒の様子を地域に発信する。
教育環境と学 校財務環境の 整備	生徒にとって必要な掲示の内容を精選 するなど、学習に落ち着いて向かう環 境を作る。
	財務や納入金を適切かつ有効に運用で きるように努める。(保護者への説明責 任をはたす。)
災害、事故、感 染症、生徒指 導事案等に対 する安全性の 確保	安全な学校施設を基盤に、「新型コロナ ウイルス感染症」の感染防止対策に重 点を置き、新しい生活様式を構築する。
	自ら生命を守ろうとする意識を育てる ための知識や方途を学ぶ場を設定する。

今後も保護者の皆様のご協力をお願いいたします。

7月の主な予定

最終下校 17:45

日	曜	週	短縮	部活	主な行事
1	金	A		○	いじめについて考える日 救命講習(2年)
2	土				中体連市大会
3	日				中体連市大会
4	月	B		×	制服 DAY
5	火	B	S	○	三者懇談
6	水	B	S	○	三者懇談
7	木	B	S	○	三者懇談
8	金	B	S	○	三者懇談
9	土			×	中体連市大会
10	日			×	中体連市大会
11	月	A		×	生徒会の日
12	火	A		○	
13	水	A		○	
14	木	A		○	
15	金	A	S	×	
16	土				中体連市大会
17	日				
18	月				海の日
19	火	B			
20	水	B		×	全校集会 制服 DAY
21	木				夏季休業日(～8/29)
22	金				
23	土				
24	日				
25	月				
26	火				
27	水				
28	木				
29	金				
30	土				
31	日				

岐阜市教育委員会 GIGA スクール推進室からのお知らせです。

ご存じのようにICTの進化により、社会・経済の構造が日々大きく変化する「大改革時代」が到来しています。

医療、流通、サービス等、様々な分野で、ビッグデータ、人工知能、ロボティクス等の先端技術を活用することで、より便利で安全・安心な生活を私たちに提供しようとする仕組みが日々生み出されています。

「GIGAスクール構想」が文部科学省から提唱されて数年が経ちました。岐阜市では、国の「GIGAスクール構想」を受け、全国的にいち早く1人1台端末の整備を完了しました。さらにこの岐阜市版GIGAスクール構想をさらに推進していくために、令和4年の3月に「岐阜市GIGAスクール推進計画」を策定いたしました。

岐阜市GIGAスクール推進計画は、「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX（デジタルトランスフォーメーション）」の考え方に基づいて創られています。

「デジタル・シティズンシップ教育」とは、『私たちの社会や生活が、デジタル化により変化していく中、子供、教師、保護者、地域の人々が、同じ市民として、「テクノロジーをうまく活用しながら、デジタル時代の良き市民として生きるには、どうしたらよいか？」を考える場を作ること。』と日本の「デジタル・シティズンシップ教育」の権威である岐阜聖徳学園大学の芳賀教授より教えていただきました。GIGAスクール構想によって、学校を入口として、私たち市民が、同じ市民である児童生徒に対して、公平に、無償で、情報端末を貸与しているのは、子どもたちに、それを活用する権利を与えたと同時に、それを活用する責任を与えたことを意識しなければなりません。

次に、教育のDX（デジタルトランスフォーメーション）がどのように進んでいくのか説明します。学校教育のDXとは、単に情報化、デジタル化することではなく、デジタルテクノロジーを活用して、学校教育そのものが変革することだと考えています。これまでは、パソコンは「学校の中で」「授業で必要になったとき」「教具」として使われるものでした。しかし、タブレット端末は、「学校」だけでなく「家庭」でも使いますので、授業で必要な時だけでなく、家庭での自分自身の学習など、日常活動でも使われます。また、岐阜市から貸与されているものですが、「自分の持ち物」という扱いが変わるとともに、学校の中の「教具」から、自分自身の鉛筆や消しゴムや定規と同じ「文房具」に変わります。更には、学びのスタイルも、画一的な一斉授業から、個別最適化されたものになります。

このように、タブレット端末が、学校の中での「教具」という扱いから、社会的・日常的に「文具」として、権限と責任をもって活用することになると、保護者にもご理解とご協力が必要になってきます。これまでの考え方とコンセプトが大きく異なりますので、私たちの考えもアップデートしなければならぬといえます。現在お配りしている現行の「タブレット活用のルール」も、今年度は、この「デジタル・シティズンシップ教育」の考え方に添って、新しく改訂、アップデートして配布させていただく予定です。今年度は、6月より保護者の皆さんとの欠席等の連絡やお便り等の配付もご自身のスマートフォンなどで行っていただけるようにする予定です。また、同じく6月より動画講義の視聴により子どもたちが主体的に学ぶこともできる教材、「スタディ・サプリ」の利用も始まります。

「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX」の概念に基づく

岐阜市版GIGAスクールのさらなる推進

(岐阜市GIGAスクール推進計画 R4.3策定より)

P.T.A総会資料 岐阜市教育委員会

1.岐阜市版GIGAスクール推進計画



岐阜市HP <https://www.city.gifu.lg.jp/kosodate/kyouikuinai/1016053.html>

2.「デジタル・シティズンシップ教育」とは？

私たちの社会、生活がデジタル化することによって変化

この変化を、前向きに捉え、よりよい方向にするために、子ども、教師、保護者、地域の人々が、同じ市民として、

「テクノロジーをうまく活用しながら、デジタル時代の善き市民として生きるには、どうしたらよいか？」

を考える「場」を作る。

これが、「デジタル・シティズンシップ教育」です。

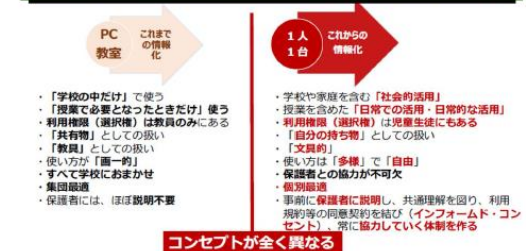
(資料提供：岐阜聖徳学園大学 教育学部 芳賀高洋 教授)

ICTやデジタル社会は危険を伴うので「～をしてはならない」という、大人の価値観を「正解（答え）」として教える、子どもに思考停止させたり、「答え合わせ」をする、旧来のいわゆる「O×教育」からの脱却を目指す

Table with 2 columns: '例' (Examples) and 'これから' (From now on). It compares old methods like 'iPad is safe' and 'passwords are shared' with new, more thoughtful approaches.

3.「教育DX（デジタルトランスフォーメーション）」の具体

GIGAスクール構想による「学校教育の変化」



コンセプトが全く異なる

(資料提供：岐阜聖徳学園大学 教育学部 芳賀高洋 教授)

「岐阜市教育委員会×岐阜聖徳学園大学 デジタル・シティズンシップ教育に係る連携協定 (R3.7)」

学校においても、このように「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX（デジタルトランスフォーメーション）」の考えで、これらの効果的な活用に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしく願います。